



三刃屋高校体育祭で応援合戦を繰り広げる生徒たち(9月6日、三刃屋高校学園祭「三高祭」)

2011

10

No.83

CONTENTS

- 2 子どもたちが頑張りました！おめでとう！！
- 4 雲南ニュース
- 6 雲南市から平和メッセージ発信！
- 7 行政組織見直し、健康づくり拠点整備の検討状況
- 8 ふるさとウォッチング
- 10 雲南病院だより
- 14 わが家のホープ ほか
- 18 市役所からのお知らせ ほか
- 26 ヤマトノオロチ伝説の舞台・雲南を巡る シリーズ⑦
- 27 ふるさと秋祭り情報
- 28 10月のイベント

市

Public Relations

報

うんなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

子どもたちが頑張りました！おめでとう！！

加茂B&Gレスリングクラブ

7月29日から新潟市内で行われた第28回全国少年少女レスリング選手権大会新潟大会に加茂B&Gレスリングクラブから小学2年生の24kg級の部に出場した黒田佳史夫君が銀メダルを獲得しました。全国の強豪選手を相手に臆することなく立ち向かい日頃の練習の成果を大いに発揮し、雲南市レスリング史上初の快挙を成し遂げました。

《黒田佳史夫選手のコメント》

決勝で勝てず準優勝で悔しかったです。来年は優勝できるように頑張りたいです。



寺領スポーツ少年団ソフトボール部

8月5日から福井市内で行われた第25回全日本小学生男子ソフトボール大会に出場しました。初戦で岐阜県代表の赤とんぼスポーツ少年団と対戦し、初回に幸先よく1点を先制し、その後もチャンスをつくるものの追加点を奪えず、逆転され1対8で残念ながら1回戦を突破することはできませんでした。

《田本^{たける}彰流キャプテンのコメント》

全国大会では悲願の1勝は出来ませんでした。悔いのない試合が出来ました。多くの方のご声援、本当にありがとうございました。



西日登スポーツ少年団ソフトボール部

7月23日から福岡市内で行われた第13回西日本小学生ソフトボール大会に出場しました。今回で7回目の出場となり、1回戦突破を目指し、チーム一丸となり練習に励み大会に臨みました。初戦で宮崎県代表の広瀬北ソフトボールスポーツ少年団と対戦し善戦及ばず、目標の1回戦を突破することはできませんでした。



《石田雄介キャプテンのコメント》

試合には負けただけ、全国大会のレベルの高さが分かったので良かったです。これからは、どうして打てなかったか、どうしたら打てるようになるかを考えながら練習をしていきたいです。

雲南市内のスポーツ少年団や中学生などが全国大会や西日本大会へ、島根県代表として出場しそれぞれが日頃の練習の成果を十分に発揮しましたので紹介します。

M・Y・ツインズ

M・Y・ツインズは、三刀屋スポーツ少年団と吉田スポーツ少年団が今年の4月に合併したチーム。8月19日から大阪市内で行われた第18回西日本学童軟式野球大会に出場しました。初戦で、全国優勝経験のあるチームに勝って勢いに乗ると、どんどん勝ち進み、ついに決勝へ進出。決勝戦では、滋賀県代表の多賀少年野球クラブと対戦し、惜しくも敗れましたが、準優勝は山陰勢で初の快挙です。

《後藤裕太キャプテンのコメント》

決勝戦で負けましたが、準優勝できてすごくうれしかったです。ここまでこれたのは、指導してくれた監督、コーチ、そしていつも見守ってくれるお父さん、お母さんのおかげで、とっても感謝しています。これからも頑張ります。



大東中学校野球部

中国大会で準優勝を飾り、創部以来初めて全国大会のキップを手に入れました。8月17日から和歌山市内で行われた第33回全国中学校軟式野球大会の初戦は、東北地方代表の青森県平賀東中学校と対戦し、初回にあげた3点を守りきり、1回戦を突破しました。2回戦の近畿地方代表兵庫県住東中学校との対戦では、2点を先制され、その後も追加点を奪われる苦しい展開。大東中はチャンスをつくり1点を返すも後が続かず、1対4で惜敗しました。

《細木涼平キャプテンのコメント》

僕たちは、大東中学校創立以来初の全国大会出場を果たし、部員全員で心をひとつに戦い、1勝することができました。応援ありがとうございました。



大東中学校陸上部(棒高跳び) 錦織 実君

《錦織実選手のコメント》

大会では自分の全力は出し切りましたが、決勝進出はかなわず全国のレベルの高さを実感しました。協力してくれた人たちに感謝して、これからも頑張りたいです。

8月19日から奈良市内で行われた第38回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場しました。予選で4mを3回目、4m10を2回目でクリアしました。続く4m20を3回ともクリアできず、惜しくも決勝進出はできませんでした。4m10は、県大会で更新した自己ベストに並ぶ記録です。



ニュース

雲南市戦没者追悼式

風化させることなく、次世代へ語り継ぐ

加茂文化ホールラメールで8月29日、平成23年度雲南市戦没者追悼式が遺族会など400人が参列し行われました。式典では、主催者を代表して速水市

長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、恒久平和の実現に向け、全力を尽くす」と誓いました。雲南市遺族会を代表して景山忠夫会



長が「戦争の悲惨さ、愚かさ、命の尊さと平和の大切さを思い起こし、私たちが遺族が経験した苦い、苦しい体験を二度と繰り返してはならないことを次の世代に確実に伝えなければならぬ」と述べ、祭壇に献花をし、世界の恒久

たたらりの里山

再生プロジェクト始動!!

動を展開します。

雲南市は、かつてたたら製鉄や炭、和紙などの一大生産地として栄え、こうした里山の恵みによって人々の営みが支えられてきました。こうした里山と暮らしの豊かな関係を今一度結び直そうと、地域の8割を占める森林資源を最大限に活用する木質バイオマスエネルギー、山地酪農、コミュニティビジネスなどに戦略的に取組む、「たたらりの里山再生プロジェクト」が始動しました。



9月2日には、市や民間事業者など24団体で構成するたたらりの里山再生プロジェクト推進地域協議会（会長・速水雄一雲南市長）が設立され、今後の事業展開の協議・意思確認などが行われました。協議会では、同プロジェクトを、規制の特例措置や財政支援を受けることができる国の地域活性化総合特区制度へ申請を予定するなど、里山再生による持続可能な地域づくりをめざした活

しまね健康超寿者表彰

大東町 塩野千恵子さん(100歳)受賞

大東町須賀の塩野千恵子さん(100歳)が溝口善兵衛島根県知事から「し



まね健康超寿者表彰』を授与され、家族と共に受賞を喜びました。

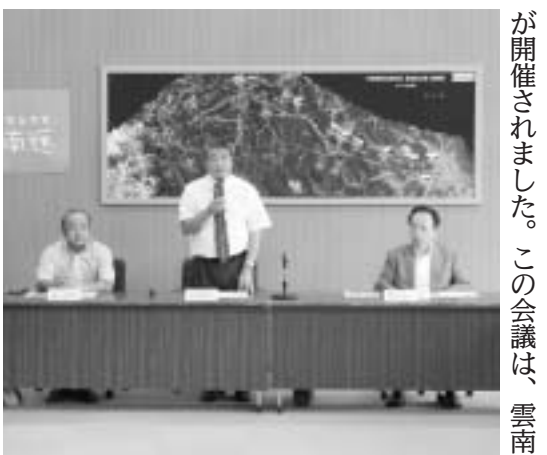
この表彰は、県内の100歳以上の方が健康で日頃の生活を楽しみ、社会との関わりを持ち続けていることを称えるものです。

塩野さんの趣味は、花、書道、写真、謡、文通など多岐に亘っており、知事へお礼の意を込めて謡を披露しました。その後、塩野さんからの要望により、それぞれが色紙に書をしたため交換されました。最近の一番の楽しみは、友達や離れて暮らす大学生のひ孫さんと文通をすることと語る塩野さん。いつまでも生涯現役で。

だれもが平和で心豊かに暮らせる

まちをめざして!

9月9日、市役所で「雲南市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進会議」が開催されました。この会議は、雲南



市が安全で安心して暮らせるまちをめざして、行政と市民などが連携・協働して市民の不安を減らし、犯罪の発生を許さない地域社会の実現に向けた取り組みを行うために、今年度新たに設置されたものです。

委員として参加した地域防犯活動団体や事業所・企業等の代表者らは、普段の活動内容や抱えている課題等の意見交換をし、今後、雲南市安全安心メーソールの配信や防犯に関するアンケート調査の実施、「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」での広報啓発活動などに取り組むことを決め、それぞれが連携をして活動を展開することとしました。

市長コラム

如己愛人の精神で国際交流を

7月26日から4日間、韓国清道郡から中学生15名と市長に相当するイ・チュングン郡守ほかの引率団を含む24名が雲南市を訪問されました。また、8月8日から4日間、雲南市から中学生9名と私、藤原政文議長ほかの引率団を含む18名が訪韓し、青少年の相互交流が実現しました。

市内では、銅鐸やヤマトノオロチ神話伝承地の視察、中学校神楽部や太鼓倶楽部などとの交流をしていただきました。

一方、清道郡では、市役所に相当する「郡庁」、私立モゲ中学校、ワイントネル、韓国近代化運動の歴史を学ぶセマウル記念館等を訪問しました。

隣国とはいえ、近くて遠い国の文化に触れ、国際的な知識、語学の大切さ等を学んだと思います。

モゲ中学校の職員室の入り口に「如己愛人」の額がありました。「己を愛する如く人を愛せよ」の精神にのっとり、「自国を愛する如く隣国を愛せよ」を共通理念を持った交流が是非とも望まれます。

そのことは、必ずや雲南市と清道郡の交流に、日本と韓国の関係に大きく貢献すると確信します。



韓国清道郡へ訪問した際、休憩する市長 (8月8日)

第21回永井隆平和賞発表式典 雲南市から平和メッセージ発信！



今年で21回目となる永井隆平和賞発表式典が9月11日、三刀屋文化体育館アスバルで行われ、雲南市から恒久平和の実現に向けたメッセージを発信しました。

雲南市民で童謡を歌おう会による「長崎の鐘」の合唱で式典が始まり、「愛」と「平和」をテーマに募集した作品の入賞者に速水市長から表彰状を授与した後、各部門の最優秀賞の受賞者が作品を朗読しました。今回は、



全国35都道府県から2、124点の作品が寄せられ、厳正なる審査の結果、部門ごとに優秀作品が選ばれました。

今回の入賞者の中には、お母さんやお兄さんも以前に賞を受賞された方も含まれていました。

式典後の記念イベントでは、佐々木祐滋さんが「サダコから未来へのメッセージ」平和へのINORIを折り鶴にこめて、をテーマにしたコンサートで平和を呼びかけていました。

第21回 永井隆平和賞入賞者

(敬称略)

部門	賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名・学年
小学生低学年	最優秀賞	田中海雄	福島でいっぱいわらいたい	福島県	福島県郡山市立芳山小学校・3年
	優秀賞	鳥合紗凜	人を気にかけること	島根県	島根県雲南市立西小学校・3年
	佳作	落合維吹	天国のはかせへ	島根県	島根県雲南市立久野小学校・3年
	佳作	山根示優	大好きなお母さん	島根県	島根県雲南市立三刀屋小学校・3年
小学生高学年	最優秀賞	大橋遼太郎	日本語が下手なおじいちゃん	長野県	長野県豊丘村立豊丘南小学校・6年
	優秀賞	安立裕也	あたり前のことを自分から	島根県	島根県雲南市立久野小学校・4年
	佳作	岩田真咲	修学旅行で学んだこと	島根県	島根県雲南市立吉田小学校民谷分校・6年
	佳作	柿木駿太郎	魔法のハイタッチ	島根県	島根県雲南市立飯石小学校・6年
中学生	最優秀賞	成沢希望	私がいることで	千葉県	千葉県柏市立柏第二中学校・2年
	優秀賞	勝田萌里	誰かのために	島根県	島根県雲南市立木次中学校・3年
	佳作	松原圭佑	命を運ぶということ	島根県	島根県雲南市立木次中学校・1年
	佳作	猪森万里夏	「島唄」にのせて	埼玉県	埼玉県朝霞市立朝霞第二中学校・2年
高校生	最優秀賞	宮國琳	当たり前の日々を大切に	沖縄県	沖縄県宮古島市立砂川中学校・3年
	優秀賞	澤山友佳	平和に必要なもの	東京都	東京都女子学院高等学校・2年
	佳作	荒木晴子	私にできること	島根県	島根県松江市松徳学院高等学校・1年
	佳作	銘刈勇	「心の壁」を取り除くもの	沖縄県	沖縄県立那覇国際高等学校・2年
一般	最優秀賞	松元孝朗	未来につなぐ平和を築く	鹿児島県	鹿児島県立市来農芸高等学校・3年
	優秀賞	上野宏樹	ブドウを女兒に持って帰る	兵庫県	
	佳作	柴田えみこ	地獄	北海道	
	佳作	谷関幸子	戦争の話	東京都	
	佳作	神田和子	語るべき言葉	宮城県	

入賞作品の全文を雲南市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

行政組織見直し、健康づくり拠点整備の検討状況

行政組織見直し 検討委員会

8月8日に開催された「第3回雲南市行政組織見直し検討委員会」(岡田盛行委員長)で出された意見など概要は次のとおりです。

■意見要旨(抜粋)

- 総合センターについては窓口業務として木次を除いて旧町単位に一つということですが、業務が本庁に吸い上げられると、ほとんどの方が本庁に行かなければならなくなる。交通弱者には難しい面があると思う。例えば業務は今のままで総合センターをまとめるなど、箇所数を減らすというようなことは過去に検討されたか。
- 今交流センターというものが言われているが、地域づくりのための専門的な職員を配置して地域住民と意見を交わしながら地域づくりを進めていくというやり方は検討できないか。
- 地区担当制が本当にうまく機能するのかが、現場の地名など状況が把握できるのか。また相談した時に地区担当

がない場合はどうなのか。総合センターに配置する職員の数、人口割りとかで決められるのか。

- 地域自主組織(交流センター)に市の事務事業などを請け負わせることはないか。
- 総合センターの機能を窓口のみではなく、事業をほとんどやる部署にするのか議論を進めていかなければならない。
- 防災の観点からは迅速性が求められる。市民が安心して暮らすためには縮小・廃止は逆行するのではないか。行革は必要であるが、今よりこつこつと面々良くなるという視点で進めていただきたい。

○地域との関わりの部分で市民と職員との信頼関係を築くことは大切である。電話があればすぐ現地で対応できるようなことが必要である。

○総合センターを廃止・縮小となれば地域自主組織(地域交流センター)をその地域にあったものに作ることも大切だと思う。

交流センターを3年に1回見直すということだが、交流センターをもつと住民と密接な場所として使えることができればもう少し住民との関係が良くなるのではないか。

○総合センター縮小後窓口のみとなることはやむを得ないことと思うが、災害時の対応が本当にできるかというところが大きな問題である。もつと詳しいコミュニケーションを提示していただきたい。また地区担当制についても具体的に示していただきたい。

○自治振興課の課別業務とか福祉の業務については説明されるのか。

行政改革推進課
☎0854-40-1024

医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業の在り方に関する検討委員会

「医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業の在り方に関する検討委員会」(塩飽邦憲委員長)の第3回会議が、7月28日に開催されました。

○市内プール施設の利用状況

況)について報告(事務局)「プールの現状と改修方法」施設機能及び利用方策」について説明・協議(事務局)

○「市政懇談会」について報告(事務局)

○「市政懇談会」について報告(事務局)

○海洋センターでは、小学生を対象にした水泳教室を7回開催し60人が参加している。また、幼児対象のアクアリズムの教室を7回開催しているほか、出前教室も行っている。さらに一般向けには、水泳教室や中高年のアクアビクス教室、水中でのゲームなどの事業を行っている。

○海洋センタープールの現状について、屋根のビニールに穴が空いていて、いつ大きく破れるかわからない。あと屋根の鉄骨や換気扇も腐食しており改修が急がれる。

○水を加温せずに室温だけ上げるようなやり方はできないのか。

○施設を作ることについて市民の多くは抵抗感があると思う。しかし、海洋センターでは様々な取り組みがされており、こつこつと流れをさらに進めるためにも施設の整備は必要なことである。障がいのある人、子ども、高齢者が同じ空間で交流が

できる場として施設の整備そのものには異論はない。課題は運営費と場所ではないか。合併して7年経つが、市民の気持ちは一つになっていない。もう少し時間をかける必要があるのではないか。

○市内にも温泉があるのに、こつこつ整備ができないのか、将来的な負担はどうなるのか心配である。今すぐ作るのかどうかと思う。

■会議のまとめ(委員長)施設イメージは固まってきたと思うが、運営費などのコストの問題、市内の他の施設との連携性や連携の在り方などが課題としてあげられる。次回はそのあたりについて、事務局から提案をいただき議論していきたい。

■今後の予定
次回(第4回)の会議は、10月14日(金)14時から市役所議場で行う予定です。

なお、次回から会議を傍聴できることになりました。詳しくは、健康推進課にお問い合わせください。

健康推進課
☎0854-40-1018

二つの検討会議の詳しい状況は、雲南市ホームページでご覧いただけます。

8/29

できた！カッコイイでしょ

大 東町の久野地区振興会は、夏休み期間中に「楽々ふれあい活動」を通して、子どもたちの交流の場をつくりました。休園となった久野幼稚園を活用し、8月に7回活動しました。22日と29日には、大東地区のチャレンジクラブや島根大学の学生さんたちにも呼びかけ、地区の子どもたちと一緒に、川遊びや口ボモ（木の人形）を作ったりして楽しみました。40人近くの子もたちは、島根大学の学生と一緒に口ボモを作り、洋服を着せたり、ボタンなどで顔をあしらったりした人形に名前をつけて遊びました。子どもたちは普段使わない木づちなどを使い、夏休みに自然豊かな久野地区で貴重な体験をしていました。



8/18

みつけた！どじょうがいた！

三 刀屋地区まちづくり協議会は、今年も「発見！みとやまち歩き探検隊」を行い、三刀屋町の小・中学生約30人が参加しました。参加した子どもたちは、三刀屋町の滝谷川と三谷川の2班に分かれ、どじょうやカニなどを取ったり、川の中に何がいるのか調べたりしました。その後、2班が合流して三刀屋川で鮎のつかみ取りをし、とった鮎を塩焼きして美味しく食べていました。ご飯を食べた後、班ごとに自分たちの担当した川にいた生物などの地図をつくり、楽しかったことやうれしかったことなど発表しました。



8/27

加茂スポ少野球部30周年



加 茂スポーツ少年団野球部は、今年で結成30周年を迎えました。27日には、加茂文化ホールラメールで、来賓、歴代指導者、保護者及び県内のスポーツ少年団関係者ら約80人を迎え記念式典及び祝賀会を開催しました。設立当初は用具が十分に無く、かわるがわるキャッチボールや素振りを行った思い出など聞きながら、30周年を節目として他チームとの交流を深め、活躍することを誓いました。

近年の同スポ少の成績は、昨年のJ Aカップ第27回島根県学童軟式野球選手権大会では優勝、本年のJ Aカップ第28回大会でも県大会に出場し、準決勝で本大会優勝した乃木ライオンズに惜敗し3位となりました。

この悔しさをばねに、これからも日々練習に励み、常に優勝争いができるチームになるよう頑張ります。

8/8

願いごとが叶いますように



木 次町の下熊谷交流センターで『くまっ子交流七夕の集い』が行われ、下熊谷地区の子どもたち26人とくまっ子見守り隊の隊員16人が交流しました。参加した子どもたちと見守り隊員が短冊に思いの願いごとを書き、七夕飾りを完成させました。みんなで七夕の歌を歌ったり、ハンドベルなどの楽器を使ったゲームなどで遊んだり、最後には、一緒に食事をして交流を楽しんでいました。

くまっ子見守り隊は、平成18年に結成され、下校時の見守り活動を行っています。そうした活動では、子どもたちとの信頼関係が大切なことから、毎年この集いを行って、子どもたちと仲良くなっています。

9/4

深野神楽 伝統芸能の伝承！



深 野神楽が復活してから25周年となり、吉田町の田井小学校体育館で記念共演会が行われ、約550人の来場者がありました。深野神楽は、吉田町深野地区に古くから伝わり、大正時代の初めに途絶えましたが、地区内で復活の機運が高まり、昭和61年に深野神楽保存会が結成されました。復活後は、国内での公演のほか、アメリカやタイなどへも公演に行き、また子ども教室を開講し伝統芸能の伝承にも精一杯取り組んでいます。

記念共演会では、始めに深野神楽子ども教室が「清目」、「大蛇退治」を舞い、最後に保存会が「警戸」を熱演しました。仁多乃炎太鼓、出雲市の大土地神楽保存会、浜田市の石見神楽亀山社中のほか、県外からも広島市の琴庄神楽団、全国大会で最優秀賞に輝いた大分県由布高校郷土芸能部が出演して来場者を魅了していました。

8/13

息の合ったバチさばき



名 古屋市にある名古屋国際会議場「センチュリーホール」で、第13回日本太鼓ジュニアコンクールが開催され、島根県を代表して、掛合太鼓ジュニア(15名)が出場しました。この大会は、3月に開催予定でしたが、東日本大震災の発生で延期になりました。当時中学3年生だった選手は高校に進学しましたが、引き続き在校生とともに厳しい練習に臨み、大会に出場しました。

大会当日は、規定された演奏時間内に、持てる力の全てを出しきって、「ふるさと掛合」の郷土芸能をアピールし、素晴らしい演奏を披露しました。残念ながら特別賞まであと一歩届きませんでしたが、審査員からは、飾りバチを使った演奏が、花が咲いたように美しかったとか、息の合った良い演奏であったという講評をいただきました。伝統ある掛合太鼓ジュニアの一層の活躍が期待されます。

雲南病院だより



雲南市立病院 内科 田中 敬康

禁煙に挑戦しませんか

最近、多くの職場や公共施設で禁煙や分煙化が叫ばれるようになり、これを機会に禁煙をしようと考えている人が多くなっています。日本における喫煙率は、男性43%、女性12%で、男性の約4割強、女性の1割が喫煙をしています。

国は、今後の課題として喫煙者を男性25%、女性5%に、減らすように目標設定しています。

喫煙に伴う身体に及ぼす影響は、有害物質がたくさん含まれています。何と、4,000種類以上の化学物質がふくまれ、200種類以上は有害物質です。

その中で3大有害物質と言われているのは、「ニコチン」「タール」「二酸化炭素」です。ニコチンは依存症を作りま

す。タールには43種の発癌物質・発癌促進物質と毒性物質が確認されています。一酸化炭素は動脈硬化促進作用とともに低酸素血症を作ります。非喫煙者が吸うことになる「副流煙」には、主流煙に比べて有害物質が2〜4倍多く含まれています。

親がタバコを吸う場合、子供は気管支喘息や気管支炎になる率が高くなります。

そして、妊婦または夫の喫煙により、低体重児の生まれてくる率が高まります。

喫煙者の死亡率は、男性で1・55倍、女性で1・89倍高くなります。詳しく見ていくと、心疾患・脳卒中の死亡率は男性で1・41倍、女性で2・72倍と、かなり高い数字が確認されています。また、喫煙本数が増えるほど糖尿病の発症リスクが高まり

ます。癌による死亡数は、非喫煙者より喫煙者のほうがはるかに高く次の表のように報告されています。

肺癌	4. 5倍	咽喉頭癌	3. 2. 5倍
胃癌	1. 4倍	肝癌	3. 1倍

喫煙習慣とは、タバコをく

ゆらせて一件落着、さまざま行動の縮めに存在する喫煙をいいます。たとえば、食事の後、仕事の後などにタバコをくゆらせて終了という人を多く見受けられます。「タバコを吸うとイライラが取れ落ち着きます」という人がいます。これは、ニコチン切れに対してニコチンを補給しているにすぎないのです。

「やめたいのにやめられない」というのはニコチン依存症に陥っているためといえます。

WHO（世界保健機構）は、「喫煙は病気の原因の中で予防できる最大にして唯一の原因である」と言っています。自分自身の健康のため、更には家族の健康のため禁煙しませんか。禁煙外来治療中に、今までの喫煙習慣に変わる生活習慣を身につけ、禁煙を確実なものとしてください。

禁煙すると直接的には、

- (1) 咳、痰が止まります
- (2) 目覚めが爽やかになります
- (3) 食べ物の味が良くなります
- (4) 息切れしなくなります
- (5) 呼吸が楽になります

そして何よりも最大の効果は、自分自身が気持ち良くなるということです。

また、経済的にも効果は絶大です。1日に一箱400円として1ヵ月で12,000円。1年で144,000円、10年で1,440,000円。1日二箱なら2,880,000円となります。煙とともに消し去るより有効利用を考えたらどうでしょう。

診療活動に禁煙指導を日常的に組み込むことよってさまざまな喫煙関連疾患の予防や予後の改善に貢献したいと思っています。

第1回 病院祭を開催しました

9月10日（土）に第1回雲南市立病院祭を行い、約350名の皆さまにご参集いただき、盛大に開催することができました。メイン会場では、オープニングイベントとして院内保育所「ほたるキッズ」の園児9名の自己紹介とくす球割を行いスタートしました。その後、島根県立中央病院、救急救命科部長の山森祐治先生による「フライトドクターが語る救急医療」と題した基調講演をいただき、6月から県内で運行が開始されたドクターヘリの概要や運行状況、今後の救急医療への課題などについてお話しいただきました。午後には、病院ボランティアの皆さまによる安来節ショーや、病院職員有志で結成した



合唱団とオーケストラによる演奏会を行い、たくさんの方々を楽しく和ませてまいりました。また、南棟4階では、専門職による各種相談コーナーや、縫合体験や内視鏡体験などの体験コーナー、病院の歴史展などの展示コーナーなどを設け、多くの市民のみなさまと交流することができました。今回はじめての試みではありましたが、多くの市民のみなさまにご来場いただき、職員一同大変うれしく思いました。今後も様々な形で市民のみなさまと交流し、よりよい病院作りを進めていこうと思えます。

平成23年度 第1回改革プラン評価委員会開催報告

8月25日、今年度第1回目の改革プラン評価委員会を開催しましたので、概要を報告します。この委員会は、総務省から示された「公立病院改革ガイドライン」に基づき作成した、改革プラン（当院ではステップアッププランと命

名）の進捗状況の検証や評価を行う外部委員会で、改革プラン策定後3年間の評価が必要とされており、今年度が最後の年となります。

今回の委員会では、ステップアッププランに基づき取り組んでいる、果たすべき役割の進捗状況と、平成22年度の経営状況（平成22年度決算）について報告しました。果たすべき役割では、8月1日から電子カルテシステム及び画像配信システムを稼動したことや、医療出前講座「飛び出す！雲南病院講座」の開催状況、ケーブルテレビにおいて放映している病院特集番組「病院プレバート」（H23・4より「メディカルガイド医



診伝診に改名」の放映状況、医師・看護師確保の取り組み状況、地域医療人育成センターにおける取り組み成果などについて報告しました。経営状況につきましては、14年ぶりに黒字化が図れ、内部留保資金もステップアッププランの目標額を上回る積み立てができたことなど、順調に経

営回復している状況について報告しました。

委員の皆様からは、各種活動の成果や経営改善が図れたことなどについて評価いただき、松井病院事業管理者、大谷院長を中心に職員が一丸となつて様々な取り組みがなされ、市立病院として新しく生まれ変わる姿が伝わってきていると、好評をいただきました。

電子カルテについて

導入の経緯

平成16年11月より総合医療情報システム（オーダーリングシステム）を構築し、医師の指示等を紙伝票から電子的に行うよう整備いたしました。この時点で、電子カルテは次ステップの導入と位置付け、カルテは従来通り紙での運用を行ってまいりました。

導入の内容

次のシステム等を導入し、平成23年8月1日より稼働いたしました。

- 1) 電子カルテシステム
- 2) 分娩管理システム
- 3) 病歴システム
- 4) インシデント・アクシデントシステム
- 5) 看護人事管理システム
- 6) 画像配信システム（レントゲン画像、生理検査画像）
- 7) 再来受付機システム
- 8) 患者認証システム（リストバンド）



9) 通信回線の光ファイバーによる2重化

現状

稼働にあたりましては、再来受付機の更新、或いは移行期の混雑等のため、大変ご迷惑をお掛けしていることと思いますが、電子カルテが使えない等の大きなトラブルもなく稼働させることができました。

現在、診療データの蓄積とともに電子カルテのメリットを実感しながらも、職員一同、問題点の整理、検討を行い、安全でスムーズな運用、そして皆様にご満足いただけるように取り組んでいるところです。

今後も、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



診療風景

健康管理センターからのお知らせ

糖尿病教室

平成23年12月4日(日) 10:00~12:00

講演 『合併症予防のために知っておくこと』 服部修三 統轄副院長
『フットケアについて』 看護師

スタッフによる相談会

インスリン注射手技指導

普段の生活で役立つ講義です。相談会もありますのでお気軽にお越しください。予約の必要はありません



会場：雲南市立病院 4階大会議室

問い合わせ：雲南市立病院 保健推進課
☎0854-43-3602

お知らせ

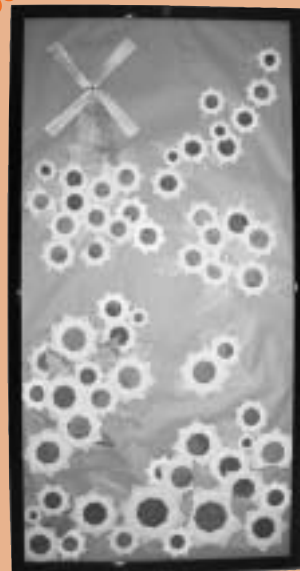
当院では本年度より、雲南夢ネットの番組で『メディカルガイド^{いしんでんしん}医診伝診』を放映しています。

内容は、病院内各部署での様々な取り組みについて特集を組んで放映しています。

放映日は毎月第3土曜日に放映しています。是非、ご覧ください。
雲南市立病院 総務課



展示コーナーのご紹介



展示者：大東おりづる会



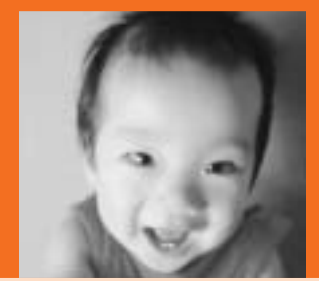
展示者：ちゃれんじクラブ



12月の展示作品紹介



10月で満1歳おめでとう



飯石陽一さん・玲奈さんのお子さん
らいく 来玖ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成22年10月21日生まれ
我が家の癒し系アイドル来玖☆
お誕生日おめでとう! これからも
笑顔いっぱい元気に育ってね!



市場健一さん・幸子さんのお子さん
こはる 小春ちゃん (三刀屋町里坊)
平成22年10月24日生まれ
こはちゃん たんじょうび おめでとう☆
お兄ちゃん、お姉ちゃんとな
かよくしてね♡



永沼英之さん・千絵子さんのお子さん
かすき 和輝ちゃん (木次町里方)
平成22年10月11日生まれ
かずちゃん たんじょうび おめでとう
みんなのアイドル♡
これからも元気に育ってね



古居正道さん・幸代さんのお子さん
なるき 成稀ちゃん (吉田町吉田)
平成22年10月23日生まれ
いつも笑顔で好奇心旺盛な なるき☆
産まれてきてくれてありがとう これ
からも笑顔いっぱい元気に育ってね



村尾尚樹さん・亮子さんのお子さん
わかな 和奏ちゃん (木次町下熊谷)
平成22年10月14日生まれ
わかちゃん、1歳おめでとう☆ プクプク
ほっぺのニコニコ笑顔が大好きだよ! 拓
真兄ちゃんと仲良く元気に大きくなあれ!

11月で満1歳(平成22年11月生まれ)のお子さんを募集!

写真に右の6項目の内容を添え、郵便またはE-Mailで
10月7日(金)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

- ①お子さんの名前(ふりがな)
- ②お子さんの誕生日
- ③ご両親の名前(ふりがな)
- ④住所
- ⑤電話番号
- ⑥コメント(40字程度)



子ども手当(平成23年10月分~平成24年3月分)

市民環境生活課 ☎0854-40-1031

平成23年10月から平成24年3月までの子ども手当支給額などを定めた特別措置法が成立したことにより、今までの子ども手当法に基づく支給は、平成23年9月分までとなります。

新たな子ども手当は支給要件等に変更があるため、これまで子ども手当を受給していた方も含め、支給要件に該当する方には10月に通知し、最寄りの総合センター、または市役所市民環境生活課に認定請求書を提出していただきます。

概要

- 支給月額
 - ・0歳~3歳未満(一律) 15,000円
 - ・3歳~小学校修了前(第3子) 15,000円
 - ・3歳~小学校修了前(第1子・第2子) 10,000円
 - ・中学生(一律) 10,000円
- 所得制限 なし
- 新たな支給要件
 - ・海外留学中の場合を除き、子どもに対しても国内居住要件を設ける。
 - ・児童養護施設に入所している子ども等については施設の設置者等に手当を支給する。



郵送法大腸がん検診の受付が始まります!

雲南市では、今年も10月から郵送法による大腸がん検診の受付を始めます。

この検診方法は、2日間便を送り、それを容器に入れて郵送するという簡単なもので、その便の中に潜血(血液)がまじっているかどうかをみるものです。がん検診の中でも、自分の都合にあわせて、家で簡単にできるものですので、ぜひ、この機会に検診を受けましょう。

なお、今年度は受診率向上を目的として、クーポン(無料)券を昨年度40~65歳の節目の年齢になられた方に配布しています。ぜひ、ご利用ください。



11月1日までに投かんしてはダメ!

ポスト内が高温になり、偽陽性になることもあります。

- 受付期間：平成23年10月3日(月)~11月30日(水)まで
- 検査期間：平成23年11月1日(火)~12月21日(水)の月曜日から水曜日までに投函
- 対象者：雲南市民で今年度40歳以上の方
- 受付場所：健康推進課または各総合センター保健福祉課
- 自己負担金：5000円(ただし、70歳以上及びクーポン券持参者は無料)

※11月1日以前に投函した場合は、ポスト内の暑さで偽陽性となる場合があります。必ず、期日を守ってください。

日本一短い感謝の手紙 13

今回は家族に送る返す手紙を紹介します。

おかあさんへ
いつも、おもしろいやり方をつくってくれてありがとう。ずっとなが生きしてね。またいっしょにおりがみしようね。
むすこより

むすこへ
お手伝いをしてくれて、とても助かります。ありがとう。弟のお話をしてくれるやさしいお兄ちゃん。
おかあさんより

おとうさんへ
おとうさん、できる日になわとびをいっしょにしてくれてありがとう。これからもいっしょになわとびしようね。
むすめより

むすめへ
最近、外でいっしょに遊んでないね。天気の良い日に、また公園で一緒に遊ぼうね。遊んでいる時のあなたの笑顔は最高です。
父より

おかあさんへ
いつもおこっぺばかりでごめんね。あなたがまい日がんばっているのが、ほんとうはとってもほげまされているよ。ありがとうね。
おかあさんより



健康推進課 ☎0854-40-1045

雲南市障がい者支援活動

長寿障がい福祉課 ☎0854-40-1042

雲南市は、雲南広域福祉会と連携をとり、障がいのある方の支援を次のとおり行っています。交流会などに参加される場合は、下記へ事前にご連絡ください。

そよかぜ館

☎0854-45-0020

主に精神障がいや知的障がい、高次脳機能障がい、発達障がいのある方の支援をしています。仲間づくりや活動の場として、毎週火・水・木の午前中に軽作業、卓球クラブや茶道教室などの活動を行っています。

【今後の交流会・家族会の予定】

- 家族交流会（高次脳機能障がいのある方の家族交流）
10月28日（金） 14:00～16:00 そよかぜ館交流室
- 高次脳機能障がい者家族研修会
11月10日（木） 13:30～15:00 チェリヴァホール3F大会議室
「高次脳機能障害についての理解と支援」
講師：医療法人エスポワール出雲クリニック 院長 高橋幸男 先生
- 家族交流会（精神障がいのある方の家族同士の交流）
11月26日（土） 11:00～15:00 玉峰山荘

そよかぜ館別館

☎0854-45-0771

主に身体障がいや高次脳機能障がいのある方の支援をしています。仲間づくりや情報交換の場として、毎月15日にガーデニング教室や料理教室などを行っています。

【今後の活動予定】

- 11月15日（火） フラワーアレンジメント教室
- 12月15日（木） キムチ作り



「お問い合わせ」
しまねまごころバンク
出雲市塩冶町223-7
☎(0853)22-2256

○健康保険証、運転免許証の裏面に臓器提供の意思表示欄が順次設置

臓器提供の意思表示が
いよいよ広がりました

大切な人とお話ししましょう
○「提供したい」「提供したくない」人ひとりの大切な気持ちです。自分の気持ち、大切な家族の気持ち、大切な人とお話ししましょう。

大切な人とお話ししましょう

臓器提供法が改正されました
○ご本人の臓器提供の意思が不明な場合も、ご家族の承諾があれば臓器提供できます。これにより、15歳未満の方からの脳死下での臓器提供も可能です。

臓器提供法が改正されました
○臓器を提供する意思表示に併せて、親族に対し臓器を優先的に提供する意思表示を書面により表示できます。

臓器提供法が改正されました
○臓器を提供する意思表示に併せて、親族に対し臓器を優先的に提供する意思表示を書面により表示できます。

10月は臓器移植普及推進月間です

こげなことしとーます



研究所 うんなん

このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

養成講座開催しました！

雲南市では、市民の皆さんに身近な立場で運動指導を行う地域運動指導員を養成しています。今年度は第3期生を公募し、27名の方が応募され、去る7月26日に第1回目の養成講座がスタートしました。初回は、塩飽邦憲教授（島根大学医学部環境予防医学教室）が「地域ですすめる健康づくり」の講義、北湯口主任研究員（身体教育医学研究所うんなん）が「からだを動かす大切さ」の講義を行いました。受講生からは「構えず、無理なく、楽しく続ける！日頃の生活の中でもからだの動かし方を見直すことに気づきました。楽しかったです。」という感想が聞かれました。



真剣なまなざしで講義を聴く受講生の皆さん

募集チラシや告知放送などで養成講座を知り、自ら応募された方が多く、受講への意欲を感じます。



塩飽邦憲教授



北湯口主任研究員

講座は全5回。今後は雲南市の健康づくりに関する取り組み状況や、実際の指導に必要な技術を習得するための実技などを学びます。受講生の皆さん、養成講座と一緒に楽しみましょう。
身体教育医学研究所うんなん
☎0854-45-0300

スィ オ ガ ギ 国際交流員(CIR)の迷言コーナー

쉬어가기 (ちょっと一息) うん、なんでしよう



ホキョンラン
こんにちは！許景蘭です。

9月4日に行われた国際交流員の料理講座



朝晩に肌寒さを感じる最近です。いよいよ「天高く馬肥ゆる」季節が戻って来ました。さて韓国でも同じく「天高馬肥（チョンゴマビ）」という表現があること、ご存じですか。

このように韓国と日本では似ていることわざや四字熟語がたくさんあります。「一石二鳥」のようにまったく同じ表現（たまに、一石三鳥に変えて使う場合もあります）があるかと思うと、賢母良妻（良妻賢母）、男女老少（老若男女）、東西古今（古今東西）のように意味は同じですが、漢字の順序や組み合わせが違うものもあります。

また漢字を見れば意味は分かりますが、日本語とは漢字が違う場合もあります。「山戦水戦」という四字熟語は山でも、水でも戦って世間のあらゆる苦勞を経験したという意味で日本の「海千山千」に当

たります。他に「八方美人」は日本語とは同じ表現なのに意味は全然違うケースです。韓国では何事にも優れている人のことを意味します。同じ意味の韓国のことわざを紹介しますので、日本のどんなことわざに当てはまるか予想しながら読んでみてください。

★ 夫婦喧嘩は包丁で水切り（＝夫婦喧嘩は犬も食わぬ）、寝そべて餅を食べる（＝朝飯前）、昼の言葉は鳥が聞き、夜の言葉は鼠が聞く（＝壁に耳あり、障子に目あり）、キジ食べて卵食べる（＝一挙両得）、牛を無くして牛小屋を直す（＝後の祭り）、牛の耳に経を読む（＝馬の耳に念仏）、知らないのが薬だ（＝知らぬが仏）、安いものがあからの餅（＝安かろう悪かろう）、虎も自分の話をすれば来る（＝噂をすれば影が差す）、掻いてできもの（＝やぶ蛇）



市役所からのお知らせ

行政相談週間

総務課

☎0854-40-1021

行政相談制度は、国の行政機関の仕事などについて、苦情その他の相談や意見・要望を受け付け、公正・中立の立場から必要なあつせんを行い、その解決を促進するとともに、これを行政運営の改善に役立つものとする。

開設場所	開設日	行政相談委員
大東総合センター	10月19日(水) 9:00~12:00	足立君子
加茂総合センター	10月19日(水) 9:00~11:00	井田敬三
木次総合センター	10月18日(火) 9:30~11:30	木色健二
三刀屋総合センター	10月20日(木) 9:00~12:00	高尾正治
吉田総合センター	10月30日(日) 9:00~12:00	森山暁子
掛合体育館	10月19日(水)13:30~15:00	阿部俊宏

この制度について理解を深め、その利用を促進するため、毎年10月に「行政相談週間」を設けています。今年の行政相談週間は、10月17日から23日までです。

この週間に合わせて行政相談委員による行政相談所を開設します。相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

古着回収を毎月行います

市民環境生活課

☎0854-40-1033

10月から古着の回収を毎月行います。所定の時間に直接持込みをお願いします。

【場所】雲南エネルギーセンター(加茂町三代地内)

【持込日時】毎月第2日曜日

持込日	
10月	9日
11月	13日
12月	11日
1月	8日
2月	12日
3月	11日

- ・午前9時から11時30分 ※10月と11月は混雑が予想されます。12月以降の持込日もご利用ください。
- ※引き取りの料金は無料です。お願い
- ・古着は中身の見える透明な袋に入れて持込みをしてください。
- ・一袋の重さは10kg以内にとってください。
- ・ハンガーは必ず取り外してください。
- ・当日は混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお出かけください。
- ・係員の誘導にしたがってください。
- ・リサイクルを目的とした古着の回収ですので、次のものは回収できません。
- ・作業服・布団・座布団・下着・靴下・帽子・おしめ・破れた衣類・汚れのひどい衣類
- 【注意】平日に持込される場合は衣類でも有料になります。この日は古着以外の持込はできません。

大東町おおぎ及び木次町勤労少年ホーム前での古着の回収は行いません。

雲南市勤労青年ホーム ☎0854-42-5211

勤労青年ホーム利用者会では、綿素材の古着(Tシャツ、トレーナー、タオル等)を回収して福祉施設に提供しています。福祉施設ではこの古着を切って布巾や雑巾として使用されます。

雲南市勤労青年ホームで随時(平日の9時~5時)受け付けていますので、回収にご協力ください。

国民健康保険被保険者証の更新

市民環境生活課

☎0854-40-1031

10月1日に国民健康保険被保険者証(保険証)を更新します。新しい保険証は、世帯ごとに簡易書留郵便で9月16日に発送しました。

新しい保険証の色は、一般被保険者分が「ふじ色」、退職被保険者分が「オレンジ色」です。10月1日以降医療機関にかかるときはこの保険証をお使いください。

雲南市国民健康保険に加入の方で9月末までに保険証が届いていない方は、市民環境生活課にお知らせください。これまでお使いの保険証は各自で処分してください。

注意

次のいずれかに該当する方は市役所で手続きを行ってください!

■既にほかの医療保険に加入しているが国保保険証が届いた時

国民健康保険の喪失手続きが必要で、(勤務先からもらった保険証と国民健康保険証、印鑑が必要で、扶養認定されている方の保険証も必要です。)

■退職等により勤務先へ保険証を返却し、現在医療保険に未加入の場合

他の医療保険に加入できない場合は国民健康保険の加入手続きが必要です。(健康保険喪失証明書、印鑑が必要です)

詳しくは、市民環境生活課へお問い合わせください。

ねんきん定期便・特別便相談会

市民環境生活課

☎0854-40-1031

日本年金機構松江年金事務所では、市民の皆様のご利用を図るため、島根社会保険労務士会の協力により、ねんきん定期便・特別便の臨時相談を実施しますのでご来場をお待ちしています。

相談には、ねんきん定期便等をお持ちください。代理人の場合は委任状が必要です。

日時、場所については次のとおりです。

◆10月19日(水)

掛合総合センター

◆11月16日(水)

木次総合センター

時間はいずれも午前10時から午後3時までです。

高齢者虐待を防止しよう

包括支援センター

☎0854-40-1043

平成18年4月に施行された「高齢者虐待の防止・高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、雲南市

では高齢者虐待防止対策推進協議会を設置しています。虐待かなと思ったら…

虐待に気づいた人は、市区町村への通報義務があります。虐待を止めることは、虐待をしている人のためにも必要なことです。虐待をしていることに歯止めがきかなくなっていることもあります。

虐待を発見したり、虐待かなと思ったり迷わず連絡・相談ください。虐待を受けている高齢者本人の相談も可能です。秘密厳守・相談無料です。こんな事が虐待になります

○たたく、つねる、殴る等の身体的虐待
○暴言、無視などの心理的虐待

○十分な食事や水分を与えなかったり、劣悪な住環境の中に放置するなどの介護放棄

○日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせないなどの経済的虐待

○わいせつ行為などの性的虐待

頑張りすぎていませんか
高齢者虐待の原因の一つには「介護者の心身の疲労」があります。高齢者の介護は考える以上に大変です。介護が

高齢者虐待相談 認知症徘徊相談 専用ダイヤル

☎0854-40-1066 (24時間対応)

お詫びと訂正

9月号の22ページ「国民健康保険被保険者証の更新」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

●本文の3行目(誤)

一般被保険者分が「オレンジ色」、退職被保険者分が「ふじ色」

(正)

一般被保険者分が「ふじ色」、退職被保険者分が「オレンジ色」

広告枠

広告枠

寄附金税額控除の拡大

①目的：地域において活動するNPO法人を支援すること

②対象：市が条例において、個別に指定したNPO法人への寄付金が対象

住宅の移転をお考えの方は、都市建築課にご相談ください。

がけ地近接等危険住宅

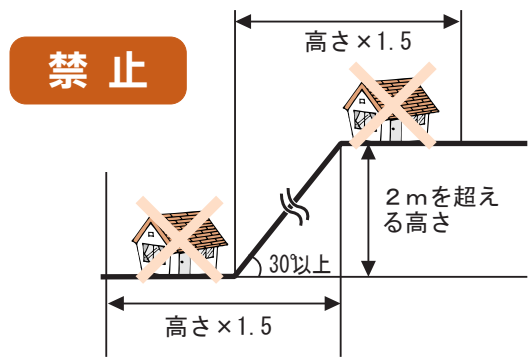
都市建築課 ☎0854-40-1064

参加者募集

英会話を通じた国際交流 国際交流員スザンナ・デビッドソンによる英会話教室

10月に新しい講座がスタートします。皆さんのご参加をお待ちしています。

ただし、昭和35年10月4日の条例制定以前に建築された住宅が補助対象です。



耐震改修助成事業

都市建築課 ☎0854-40-1064

③同一世帯に属する者全員に市税の滞納がない世帯

ボランティア活動の参加者募集

雲南市勤労青少年ホーム ☎0854-42-5211

毎月第3日曜日は うんなん 家庭の日

家族で語り合ったり、一緒に食事をしたり、家事を分担したり。

10月16日

今月の税金

- 個人市県民税(第3期)
国民健康保険料(第4期)
後期高齢者医療保険料(第4期)

納期限は 10月31日(月)

幸雲南塾「地域プロデューサー育成講座」参加者募集
政策推進課 ☎0854-40-1011

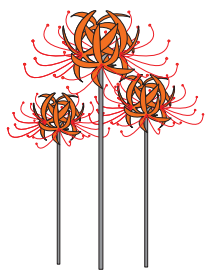
【申込先】 政策推進課

近年、地域を元気にする仕事を始めたい、そんなニーズが高まっています。

参加者募集

韓国語講座

1年ぶりに初心者コースも開講します
平成23年度第2次韓国語講座を開催します。



この講座は一般聴講も可能です。ぜひご参加ください。

「国民生活センター」から「お知らせパンフレット」が郵送されたら、それはニセモノです!

注意

- 1. パンフレットはニセモノです。住所は本物の国民生活センター東京事務所ですが、電話番号はニセモノです。
2. このようなパンフレットが郵送されてきたら、雲南市消費生活センターまでご一報ください。

雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



くらしの消費生活窓口

過去に未公開株や社債などの投資トラブルにあった人に、国民生活センターが作成したかのようなパンフレットが郵送されてきたという情報が全国で寄せられています。

冷蔵倉庫用家屋の固定資産評価額計算方法が変更になります。

税務課 ☎0854-40-1034

固定資産評価基準の改正により、平成24年度から主たる用途が冷蔵倉庫用の非木造家屋の評価額について、新築後の経過年数によって生じる経年減点補正率が改正されます。

「冷蔵倉庫用の非木造家屋」は「一般の倉庫」の経過年数で評価されてきましたが、平成24年度から「一般の倉庫」に比べて評価額が早く減少する経年減点補正率が適用されることになりました。(例：鉄筋コンクリート造は45年⇒26年に経過年数が短縮されます。)

○対象となるのは、次の要件をすべて満たす家屋です。

- ・ 冷蔵倉庫用（保管温度が摂氏10℃以下に保たれる倉庫）
- ・ 非木造（鉄筋コンクリート造・鉄骨造など）
- ・ 主たる用途が冷蔵倉庫用（事務所など冷蔵倉庫用以外で使用されている場合は、床面積の50%以上が冷蔵倉庫用）

* 常温倉庫内にプレハブ式冷蔵庫や業務用冷蔵庫等を設置されているものは該当しません。

対象となる冷蔵倉庫を所有されている場合は、事前に実地調査等が必要となりますので、税務課固定資産税グループまでご連絡をいただき、家屋調査にご協力をお願いします

無料法律相談所

雲南簡易裁判所
☎0854-4210275
島根県弁護士会に所属の弁護士が土地、建物、金銭の貸し借り、交通事故、夫婦親子、相続、少年非行などの法律問題について無料法律相談所を開設します。

（受付時間は、午前9時30分から午後2時30分までです。）
【場所】雲南簡易裁判所

下水道への接続を！

水道局 下水道課
☎0854-423471
雲南市では下水道に接続できるようにになってから、生活雑排水は1年以内、便所は3年以内に接続をするようになっています。下水道に接続する

第27回早稲田大学留学生ホームステイ事業 ホストファミリー募集

大東国際文化交流協会では、毎年、早稲田大学に留学している学生をホームステイ事業として受け入れています。

この期間中に留学生を家族の一員として受け入れ、一緒に生活していただくご家庭を募集します。ホームステイは日常生活の中で英語に触れ、お互いに異文化を学ぶよい機会です。

雲南市内の皆さまからのご応募をお待ちしています。

【期間】平成24年2月5日(日)～3月3日(土)

【締切】10月31日(月)

【申込・問い合わせ】

大東国際文化交流協会 事務局
(大東総合センター自治振興課内)
☎0854-43-8168

母子寡婦福祉資金 予約貸付受付

子育て支援課 ☎0854-40-1044

母子及び寡婦福祉資金の予約貸付の申請を受付けています。

項目	内容	
対象となる方	平成24年4月の進学等を希望している ・ 児童を扶養する母子家庭の母 ・ 20歳以上の子を扶養する寡婦 ・ 父母のない児童	
対象となる資金 ※いずれも無利子です	修学資金	児童が高等学校、大学、高等専門学校または専修学校で修学するための授業料、書籍代、交通費などに必要な資金
	修業資金	児童が就職するために必要な知識技能を習得するために必要な資金
	就学支度資金	児童が就学、修業するために必要な入学金や被服などの購入資金
対象となる方	平成24年4月に新たに自ら事業を開始し、又は就職に必要な知識技能習得のための修学等を希望している母子家庭の母及び寡婦	
対象となる資金	技能習得資金	母子家庭の母及び寡婦が、学校教育法に規定する各種学校や養成施設等で修学するための授業料、書籍代、交通費など必要な資金 ※利子…連帯保証人を立てる場合 無利子 連帯保証人を立てない場合 年1.5%

●申請手続 事前に相談をいただき、提出書類が整った後、雲南市において面接を行います。貸付の決定は島根県において行います。

●提出していただく書類等

※必要な書類等については、事前に相談してください。

貸付申請書、戸籍及び住民票の写し、島根県税の納税証明書、前年の収入額が確認できる書類（児童扶養手当証書の写しの提出をもってかえることができます）、修学修業先調書 等

●申込締切り

- ・ 第1次締切り 平成23年11月30日(水)
- ・ 第2次締切り 平成24年2月29日(水)

●ご注意 独立行政法人日本学生支援機構法による奨学金など、ほかの制度による奨学金の貸与を受ける方は対象となりません。

ことで、河川や海がきれいになります。美しい自然環境を守り、より豊かな生活環境を築くため、積極的に下水道に接続しましょう。

ご存知ですか？ 労働委員会へ雇用のトラブル まず相談

島根県雇用政策課
☎0852-226557
島根県労働委員会
☎0852-225450
一方的に解雇すると言われた、有給休暇がない、残業しているのに手当を払ってもらえないなどの労使関係のトラブルを相談、あっせんにより解決のお手伝いをします。

【労働相談】

島根県雇用政策課で労働相談員が労働に関する諸問題の相談を受け付けます。労働者個人と使用者との間の個別労働関係紛争に係るものは島根県労働委員会を紹介します。

●相談日

原則として毎週月・水・金曜日
●時間
午前8時30分～午後5時15分

【あっせん】
あっせんとは、あっせん員

掛合診療所で整形外科の診療を開始します

掛合診療所 ☎0854-62-0135

平成23年10月から毎月1回、掛合診療所で整形外科の診療を開始します。

診療は、雲南市立病院松井譲医師（市病院事業管理者）が行います。

【診療日】毎月 第2火曜日

10月は11日(火)です。

【受付時間】13:00～15:00



が当事者双方の主張を確かめ、解決に結びつく合意点を探り、話し合いによる解決のお手伝いをします。(あっせん当事者が直接話し合うことはありません。)

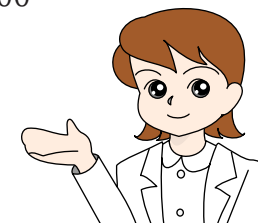
【利用できる人】

県内の事業所に雇用されている、または雇用されていた労働者個人及び県内の事業所の使用者

犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間

総務課 危機管理室
☎0854-401027
この旬間は、島根県全体で、犯罪のない安全で安心なまちづくりの広報啓発を推進し、県民の意識啓発、理解の促進を図り、県民が安心して暮らせる地域社会を実現することを目的に実施されます。

【期間】
10月11日(火)
～10月20日(木)



人権センター 第4回 定例公開講座

- と き 11月11日(金) 19:00~21:00
- と ころ 一宮交流センター(三刀屋町)
- 演 題 いつも心に笑顔を ~性同一性障害を克服する私の挑戦~
- 講 師 紫の風GIDサポートセンター代表 上田 地優さん

最近、県内の高校が発表で取り上げるなど話題に上がることも増えてきた「性同一性障害」。とはいえ、その実際はまだまだ分からない人も多く、たくさんの人が悩み苦しんでおられます。性同一性障害について、基礎的なことからお話しいただきます。

【問】人権センター ☎0854-42-1767

10月の検診・教室 など

◆育児相談		
三刀屋子育て支援センター	3日(月)	9:30~
掛合子育て支援センター	12日(水)	
加茂子育て支援センター	17日(月)	
木次子育て支援センター	28日(金)	
◆離乳食教室		
加茂健康福祉センター	11日(火)	9:30~
◆集団ポリオ予防接種		
木次健康福祉センター	5日(水)	13:15~
大東健康福祉センター	12日(水)	
◆両親学級 参加料:500円		
加茂健康福祉センター	22日(土)	14:00~16:00

◆断酒会		
加茂健康福祉センター	3日(月)	18:30~20:30
田井交流センター	6日(木)	
大東交流センター	11日(火)	19:00~21:00
下熊谷交流センター	17日(月)	
掛合まめなかセンター	19日(水)	
三刀屋健康福祉センター	29日(土)	

◆胃がん検診		受付時間
加茂健康福祉センター	13日(木)	8:30~ 9:30
大東健康福祉センター	18日(火)	8:30~ 9:30 13:00~14:00
仁寿会	28日(金)	8:30~ 9:30

◆肺がん・結核検診	
19日(水)、20日(木)、21日(金)	
詳しくは、「平成23年度雲南市成人検診のしおり」をご覧ください。	

◆集団健康診査(特定健診)		受付時間
大東健康福祉センター	3日(月)	9:00~10:30 13:00~14:00
三刀屋健康福祉センター	4日(火) 5日(水) 6日(木)	9:00~10:30 13:00~14:00
日登交流センター	18日(火)	9:00~10:30
西日登交流センター	19日(水)	9:00~10:30
斐伊交流センター	19日(水)	13:30~14:30
木次健康福祉センター	20日(木) 21日(金)	9:00~10:30 13:00~14:00

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	6日(木)	13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	13日(木)	13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	20日(木)	13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	三刀屋健康福祉センター	26日(水)	13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)

◆健康体操教室				
健康体操	加茂健康福祉センター		7日(金) 14日(金) 21日(金) 28日(金)	9:30~10:00
3B体操			3日(月) 17日(月)	13:30~15:00

◆その他相談		
こころの健康&もの忘れ相談(予約制)	【問】雲南保健所 ☎42-9642	12日(水) 13:00~14:30
雲南サロン「陽だまり」	【問】雲南保健所 ☎42-9638	13日(木) 10:00~15:00 27日(木)
アルコールによる困りごと相談(予約制)	【問】雲南保健所 ☎42-9642	17日(月) 13:00~14:30
巡回児童相談(予約制)	吉田健康福祉センター	19日(水) 10:00~16:00
交通事故巡回相談	出雲市役所	20日(木) 9:00~15:00
【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102		

献血		
【問】市民環境生活課 ☎40-1031		
皆様のご協力をよろしくお願いします。		
大東総合センター	20日(木)	9:00~10:30
Aコープ大東店		11:00~12:00
フレッシュマーケットふくま		13:30~15:00
雲南市立病院		15:30~17:00
アスパル(みとやっこまつり会場)	23日(日)	9:30~11:30 13:00~15:30



※内容、場所、日時の順に記載。 市外局番は記載のないものはいずれも0854。

10月

子育て支援センターなどのスケジュール

教室・相談 あおぞら	子育て相談 14日(金)、28日(金) 10:00~16:00
子育て サロン	木馬 おおぎ 毎週火・木曜日 9:30~15:30 ぼかぼかひろば 幡屋交流C 3日(月) 9:30~11:30 ぼっぼ 佐世交流C 6日(木) 9:30~11:30 うしお 海潮交流C 14日(金) 9:30~11:30
保育園 開放日	大保 毎週水曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) かもめ 毎週金曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) あおぞら 毎日(給食試食は金曜日のみ、試食の予約:当日9:00まで)
その他	ちびっこ運動会 大東健康福祉C 7日(金) 9:30~11:30 【問】子育て支援センター バス遠足 要予約(15組まで) 20日(木) ※詳しくは子育て支援センターへお問い合わせください つくしっ子広場 加茂子育て支援C 毎週水曜日 5日(ぶちつくしっ子合同運動会)、12日、19日(みんなでランチ)、26日(誕生会) ぶちつくしっ子広場 かもてらす 28日(金)(リズム遊び) りんごちゃん広場&育児相談 17日(月) 10:00~
子育てサロン 10:00~	支援センター
支援センター きずき 10:00~	バス遠足 4日(火) 9:00~13:30 リトミック(2歳半以上、要予約) 6日(木) 誕生会(誕生児は要予約) 13日(木) ミュージックケア(2歳以上、要予約) 14日(金) 食の杜散策 20日(木) 10:30~ 保育所の庭で遊ぼう! 25日(火) 温泉交流C 15日(土) 9:30~13:30 日登交流C 19日(水) 10:00~12:00 ベビーマッサージ(10ヵ月未満要予約) 18日(火) 10:00~ 育児相談 28日(金) 9:30~11:00受付
出前保育	にこにこクラブ(参加費 一家族100円) 西日登交流C 12日(水) 木次中学校 26日(水)
教室・相談 きずき	支援センター おはなし会 13日(木) 赤ちゃん広場(絵本の紹介) 21日(金) 赤ちゃん広場(のり遊び) 28日(金)
社協子育てサロン 10:00~12:00	保育所開放日 よしだ 6日(木)、たい 5日(水)、19日(水)
支援センター みとや 10:00~	あいあいクラブ お出かけの日 三成公園であそぼう 19日(水)
みとやよしだ	保育所開放日 夢の子 1日(土) 9:00~12:00 人形劇鑑賞会「ねずみの嫁入り」 19日(水) 10:00~11:00 昼食試食会 要予約・締切 13日(木) 20日(木) 11:00~12:00 保育所開放日 20日(木)、26日(水) 9:00~11:00 支援運動会(ゴーゴー★サロン共催) 掛合体育館 5日(水) 9:30~10:30 子育て相談日 分室 12日(水) 9:30~11:00 波多地区交流会 波多交流C 28日(金) 9:30~12:00
かけや	出前保育 9:30~11:30 多根地区 多根交流C 13日(木) 松笠地区 松笠交流C 14日(金)
	大保:大東保育園 ☎43-6132 かもめ:かもめ保育園 ☎43-3010 あおぞら:あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 おおぎ:地域福祉センターおおぎ ☎43-5610 かも:加茂子育て支援センター ☎49-6723 かもてらす:かもてらす(社協加茂支部) ☎49-7306 きずき:木次子育て支援センター(斐伊保育所併設) ☎42-2030 社協木次支部:雲南市社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080 みとや:三刀屋子育て支援センター ☎45-9500 よしだ:吉田保育所 ☎74-0330 たい:田井保育所 ☎75-0201 夢の子:かけや夢の子園 ☎62-9900 好老C:好老センター ☎62-0727 Cはセンター、市外局番はいずれも0854 ※内容が変更される場合があります。詳細は、各センターにお問い合わせください。

図書館だより

大東図書館 ☎0854-43-6131
10月の休館日 毎週金曜日、1日(土)、10日(月)、31日(月末整理日)
11月1日(火)~11月13日(日)まで書架整備・配架修正のため臨時休館いたします。ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いたします。
「こぐまちゃんくらぶ」もお休みします。

イベント案内
☆こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 10:30~
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)
新着の本(抄) ▼青山文平「白樺の樹の下で」▼浅田次郎「日輪の遺産」▼池井戸 潤「下町ロケット」▼北原亜以子「霧づくし」▼今野 敏「警視庁F.C.」▼真保裕一「アンダルシア」▼堂場瞬一「八月からの手紙」▼沼田まほかる「ユリゴコロ」▼藤田宜永「愛ある追跡」▼百田尚樹「幸福な生活」▼森村誠一「サランヘヨ北の祖国よ」▼山本一力「龍馬奔る 少年篇」▼河野裕子「たとへば君 — 四十年の恋歌 —」▼伊集院 静「大人の流儀」▼佐野洋子「死ぬ気まんまん」▼三浦朱門「老年のぜいたく」▼佐々木則夫「なでしこ力」▼上沼恵美子「犬も食わない」▼森田 敏「イネの高温障害と対策」

木次図書館 ☎0854-42-1021 休館中

10月1日(土)~31日(月)まで太陽光発電及びLED照明設備工事のため臨時休館いたします。大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



加茂図書館 ☎0854-49-8739

10月の休館日 毎週木曜日、10日(月)、31日(月末整理休館)

イベント案内
☆図書館まつり 10月15日(土) 10:00~16:00(開館は18時まで)
☆おはなしチューリップ たのしい絵本の会 午前の部10:30から
午後の部14:00から

夏の暑さが嘘のように、涼しくなりました。夜には、暖かい毛布が恋しくなります。野山も秋の装いになり、動物たちも冬支度を始めています。

『ハリネズミと金貨』

ウラジミル・オルロフ:原作 田中 潔:文
ヴァレンチン・オリシヴァング:絵 偕成社:刊

秋も終わる頃、森の草むらの中で小さな金貨を拾ったハリネズミのおじいさんは、この金貨で冬支度をしようと考えました。おじいさんが必要なものを買おうとすると…
秋の夕暮れのような暖かい絵と、ゆったりとした語りが大切な何かを残してくれる、ほのぼのとしたロシアの絵本です。



『モンゴルの黒い髪』

バーサンスレン・ポルルマー:作 長野ヒデ子:訳
石風社:刊

昔、人びとが平和に暮らすモンゴルの草原を、奪い取ろうとする悪者がいました。その大將は、邪悪なカラスを使って草原の人びとを攻めようとした。年寄りや子供を守るため、女たちは自分の髪を大きな翼の形に結び上げて、カラスに立ち向かいました。
民話を基にした、髪形の由来を語る絵本です。モンゴルの風を感じられます。



ふるさと秋祭り情報

10/9 (日) 第29回掛合町ふるさとまつり

【問】掛合総合センター ☎0854-62-0300

じかん 9:00~15:30
ところ 掛合中学校周辺
内容 むかで駅伝2011、掛合太鼓揃い打ち、掛合音頭、ステージイベント、まめなカー市など

10/15・16 (土) (日) 第29回大東よりとこ祭

【問】大東総合センター ☎0854-43-8168

じかん 15日(土) 13:00~17:00
 16日(日) 10:00~16:30
ところ 大東地域交流センター周辺
内容 ステージイベント、テント村など

10/23 (日) 第32回みとやっこまつり

【問】三刀屋総合センター ☎0854-45-2111

じかん 9:30~16:00
ところ アスパル
内容 梅が香音頭おどり、ステージイベント、出店など

10/30 (日) 第7回ななかまどフェスタ

【問】ななかまどフェスタ実行委員会 ☎0854-74-0211

じかん 9:00~15:30
ところ 吉田交流センター周辺
内容 鋼戦隊ムラゲレンジャーショー、産業展、各種テント村など

11/6 (日) 第29回きすきがっしょ祭り

【問】木次総合センター ☎0854-40-1080

じかん 10:00~15:00
ところ 雲南市勤労青少年ホーム前駐車場
内容 ステージイベント、テント市、文化作品展、大抽選会など

11/13 (日) 加茂新地域イベント

【問】加茂町新地域イベント実行委員会 ☎0854-49-8601

じかん 10:00~14:00
ところ 加茂町連坦地内
内容 ステージイベント、特産品市、まめなカー市など

※内容を変更する場合があります。

草枕・八口神社

加茂町下神原地内、斐伊川と赤川の合流点に近いところに位置する草枕山は、八塩折の酒を飲んだヤマタノオロチが苦しんで枕にして寝た山であるといわれています。スサノオノミコトは、草枕山を枕にのびていたヤマタノオロチの八つの頭を、十拳剣で切り落としたと伝えられます。また、ヤマタノオロチが草枕山を枕に横たわったため、斐伊川の水が堰き止められ、加茂町大竹と斐川町宇屋谷の境の峠を越えて水が流れたと伝えられています。その峠は「水越峠」と呼ばれています。赤川は安政年間(一八五四~一八五九年)まで草枕山を迂回して斐伊川に注いでいましたが、度重なる水難のため、草枕山を真一つに切り開いて流れを変え、現在に至っています。

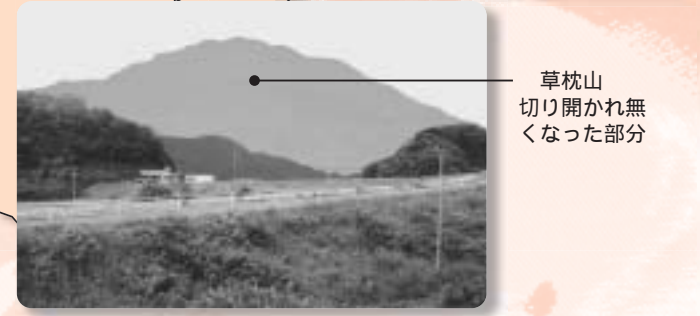
草枕山に近い場所に鎮座する八口神社は、出雲國風土記によると「矢口社」であり、主祭神としてスサノオノミコトを祀っています。社伝によると、スサノオノミコトがヤマタノオロチの八つの頭を切られたことにより八口大明神と称されたとされ、また、ヤマタノオロチが草枕山を枕にのびていたことを、スサノオノミコトが矢で射られたことから、「矢」の字を用いて「矢口神社」とも称されたとされています。



《アクセス》

- 自家用車
 松江自動車道三刀屋木次ICを下りて、国道54号から県道出雲三刀屋線に入り、出雲市方面へ進み、約4km先のT字路(三代橋)を右折。三代橋を渡り、道なりに約1km進み、突当りを左折。約1.5km進むと目的地周辺に到着。所要時間 約10分
- 市民バス
 加茂南回り線に乗り、「下神原宮の前」停留所で下車、目的地周辺に到着。

【問い合わせ】 商工観光課 ☎0854-40-1054



◆ヤマタノオロチ伝承地探訪バスツアー(秋) 参加者募集中!!

雲南市内のヤマタノオロチ伝承地を観光ガイドの案内で巡る日帰りバスツアーを実施します。
 "神話の里・雲南"の魅力を感じてみませんか? ぜひ、ご参加ください。

(1) ツアー実施日 10/8(土)、15(土)、22(土)、11/5(土)、12(土)、19(土)
 (2) ツアー行程 9:30 出雲縁結び空港発 ⇒ 9:50 JR宍道駅 ⇒ 10:10 JR木次駅 ⇒ ヤマタノオロチ伝承地探訪 ⇒ 15:30 JR木次駅 ⇒ 15:50 JR宍道駅 ⇒ 16:00 出雲縁結び空港着
 (3) 募集定員 1回につき18人(最少催行人数8人)
 (4) ツアー参加料 大人3,000円、小学生以下2,000円(昼食代込み)
 (5) 問い合わせ・申込先 榊吉田ふるさと村観光事業部 ☎0854-74-0500

人権センター 第3回定例公開講座

10月7日(金) 19:30~21:30

吉田健康福祉センター

現在の高齢者福祉の抱える課題とは何かなど、島根県の高齢者福祉について長年研究してこられた結果見えてきたものを語っていただきます。

演題 『福祉は文化社会の指標』
～終わりなき学習の姿勢～

講師 島根県立大学短期大学名誉教授
紫 民芳さん

参加費 無 料

【問】人権センター ☎0854-42-1767



雲南市総合社会福祉大会・ 地域福祉活動実践報告会

10月12日(水) 13:30~16:30

チェリヴァホール

第1部 式典：長寿者表彰、功労者表彰など

第2部 地域福祉活動実践報告会

テーマ 『小地域福祉活動を通して築く、
地域の絆づくり～その2～』
コーディネーター：加川充浩さん（島根大学准教授）

発表者：阿用地区福祉委員会（大東）

配食ボランティア むつみの会（加茂）

多根の郷（掛合）

保健活動グループ愛育班（木次）

【問】健康福祉総務課 ☎0854-40-1041



尾原ダム さくらおろち湖祭り2011

10月16日(日) 11:00~16:00

島根県さくらおろち湖ポート競技施設隣り
(木次町北原)

神楽ステージ、島根県警察音楽隊、地元の幸満載の屋台村、ダム見学会など

当日は9時30分から「島根県さくらおろち湖ポート競技施設」の竣工式も行われます。

【問】尾原ダム・さくらおろち湖祭り2011実行委員会
☎0854-48-0077



雲南市消費者問題研究協議会 総会・学習会

10月22日(土) 13:30~

三刀屋交流センター
(三刀屋農村環境改善センター)

ゴミの減量化・レジ袋の削減をテーマにした講演会、実演会など

【問】市民環境生活課 ☎0854-40-1031



第7回 日本たまごかけごはんシンポジウム

10月30日(日) 10:15~16:00

吉田総合センター周辺

テーマ：今こそ熱く語れ！たまごかけごはん
～ガンバレ日本！みんなの笑顔のために～

全国から集まった専用醤油、たまごとカマドで炊いたご飯で毎年大好評の吟味会!! my著myどんぶりを持参すれば無料。

「たまごかけごはん」討論会、体験コーナー、過去のレシピコンテストで最優秀賞に選ばれたレシピのグランドチャンピオン大会も開催。

【問】日本たまごかけごはん
シンポジウム実行委員会
☎0854-74-0500



●市報うんなん No.83 2011年 10月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

✉unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・42,646人 (-21)

♂ 男性・20,478人 (-21)

♀ 女性・22,168人 (0)

🏠 世帯数・13,659世帯 (6)

平成23年9月1日現在 (先月比)